

愛知県愛西市内用水路に生きるカメ類



Action

佐屋高校科学部は水田生態系の保全活動を大テーマに、これまで水田や用水路に生息する生き物を調査してきました。活動中、水路に多くのカメ類が生息していることが判明し、その大半が外来種のアカミミガメでした。アカミミガメは地域に侵入すると、食性から生態系を脅かします。私たちは今回の取組で、水路内に生息するカメ類の季節変動や、採捕個体の雌雄判別・年齢・体長などを調べるとともに、駆除後の処理方法も考えました。また行動特徴も調査することにしました。そのため、カメの甲羅に小型カメラを取り付け、水路やため池に放し、どのようにカメが行動するのか追いつけました。撮影された映像を見て、カメの目線で見ると外の世界が分かってきました。

